

WS「ガイダンス」

例（次回以降は、目的を達成することが授業目標です）

この単元の目的 次の内容ができるようになる

・ビッグバン、元素の誕生や宇宙の晴れ上がりまでの移り変わりを説明できる。

この時間の目的 次の内容ができるようになる

↓自己チェック できたと思ったら塗りつぶす

宇宙の広がりや銀河の分布、宇宙の大規模構造について説明できる。

今日の時程 点呼 3分 ワークシート両面 87分

課題1. 次の文を読んで理解しなさい。

地学とは…

地学とは地球科学 earth science をちぢめた言葉である。その中には地球上の大気を取り扱う気象学・気候学、水を取り扱う海洋学・水文（すいもん）学、陸地を取り扱う地形学・測地学・地震学・地質学 geology・鉱物学・地磁気学がある。また古生物学・古気候学・古地磁気学などという古い時代の地球を研究する分野もある。地学は地球に関する学問であって、その外側の天体に関する宇宙科学は含まないのが普通であるが、広義に解釈して宇宙科学も含めて高校では地学と呼んでいる。^{*1}

なお、地理（地理学）geography と地学は何が異なるのか。地理学は地域や空間、場所といった自然環境と人間活動（経済・社会・文化等）との関連を扱うことから人文科学の範疇（はんちゆう）になる。地学は人間活動との関連を主眼としていないため自然科学となる。

ノートとは…

ノートをキレイに取るように教えられるのは小学校である。なぜ子ども任せにしないのか。それはノートを通して学習の方法を学ばせているからである。また、中学校等でノート提出を求められることがある。なぜノートを回収するのか。それは授業を受ける姿勢とノートを取る技術の確認のためである。

授業中にノートを取るの、あとで読むためである。また、授業中の合間にノートを取らなくてはならないので書くスピードも必要である。つまり、「キレイなノートだが書くのが間に合わない」「汚いノートで読む気も起こらない」のは板書を取る目的に合わない。（上記の場合、補助の機器を使用してよい）

他人のノートや活字の板書記録をあとで読んでも頭に入らないことがある。逆に、自分の字を見るとそのときの授業の様子が思い出されることがある。授業中に思ったことを書き留めておく（それが授業とは関係ないことであっても）授業を思い出しやすいきっかけになる。

安心感とは…

私が授業で最も大切だと思っている「生徒の安心感」について少し説明します。

表. 評価の配点

	関心意欲態度	思考判断表現	観察・実験の技能	知識理解
チェックテスト				20 %
ワークシート	10 %	10 %		10 %
定期考査		[考察問題] 25 %		[知識問題] 25 %

※ 提出物を評価対象とする（未提出は評価しない）

※ 公欠、出停、忌引は出席して取り組んだものとして評価する

以上の計算で出した評価点で評価・評定を出す

90%以上⑤、80%以上④、65%以上③、50%以上②、50%未満①（追試対象）

課題2. 次の文を読んで、問いに答えなさい。

この授業は次の目的を達成するための時間です。

「①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、②目的意識をもって観察、実験などを行い、
③科学的に探究する能力と態度を育てるとともに④自然の事物・現象についての理解を深め、
⑤科学的な自然観を育成する。」（高等学校学習指導要領より引用、傍線と丸数字は松本加筆）

問. あなたはこの授業で何を得ようとしていますか？ それは上の枠内のどれと関係ありますか？

課題3. 名前札に氏名（フルネーム・ふりがな付）を記入してください。

（毎回これを教卓から持参し、自分の前に置くこと）

次回から授業で使うもの

名前札、教科書、ノート（サイズ等はお自由に）、筆記用具（3色ボールペン推奨）

今後の注意とお願い

提出物は個人が特定されない形で授業内外で公表することがあります。授業中、黒板の板書や実験を写真撮影します。授業記録と改善のためです。（教室掲示参照）

アンケート.

アンケート項目を選んで回答してください。（任意）

① わかりにくかったこと疑問に思ったこと ② 興味を持ったこと ③ その他

部組番号

氏名

ワークシート点 6 5 4 3 2 1